

えひめ環境賞を受賞

古川在住の藤本豊實氏

自発的・主体的に地域で環境保全活動などに取り組んでいる団体や個人をたたえる「えひめ環境賞」に、市内の藤本豊實氏（古川甲）が選ばれ、3月13日に県庁で表彰式が行われました。

藤本氏は、太陽光発電システムや温度が一定で豊富な地下水を活用した冷暖房器具を自宅に設置するなど、長年にわたり自宅の省エネルギー化に努められています。

また、省エネルギーやリサイクルの環境学習、講演活動にも取り組まれています。



▶県庁で行われた表彰式（右端が藤本豊實氏）

おめでとうございます 栄典受章

このたび、次の方が受章の栄誉に輝きました。



叙勲 旭日単光章
(地方自治功勞)

玉井紀久治氏
(小松町大頭)

昭和51年に小松町選挙管理委員に就任されて以来、24年の長きにわたり職務に精励され、この間、同委員会委員長を務められるなど、公正な選挙の執行管理と選挙啓発に多大な貢献をされました。

システム農学会2008年度春季大会 in えひめ西条

地域から見つめる『食』と『農』のいま、未来

命と暮らしの根幹に関わる日本の食と農を見つめ直し、真に豊かな「食」と「農」のあるべき姿と、その実現方策のヒントを、地域の暮らしや生産、教育の現場から考える機会として、研究者や学生が地域に学び、市民と対話する大会を開催します。

開催日

5月23日(金)～25日(日)

場所

総合文化会館 ※25日は現地見学会

5月23日(金) 13時～

シンポジウム

- 食と農が拓く地域の未来
西条市長 伊藤宏太郎
- 次世代へつなぐ～農業教育の現場から
西条農業高等学校教諭 松尾義男氏
- 農と食をつなぐ水：環境トレーサビリティ研究の最前線
総合地球環境学研究所教授 中野孝教氏
- 田んぼの見えないところで地産地消を考える
東京大学新領域創成科学研究科教授 山路永司氏

総合討論

5月24日(土) 9時30分～

研究発表会

- 一般研究発表 システム農学会会員
- 特別発表 市内農業専攻高校生、行政など

5月25日(日) 9時～

現地見学会

- 山間集落、生産組合、農産物直販所などの視察

西条農業高等学校教諭
松尾義男氏

グリーン環境科教諭。農場長。平成17年3月から生徒とともに千町棚田保全活動に取り組んでいる。耕作放棄された棚田では、雑穀、イネ、草花などの栽培に取り組んでいる。



総合地球環境学研究所教授
中野孝教氏

専門は資源地質学、同位体環境学。地球化学的なトレーサビリティ手法を用いて、地球表層の物質循環とそれに及ぼす人との関係について研究している。



東京大学新領域創成科学研究科教授
山路永司氏

専門は農業環境学、農業工学。農地の整備技術や農業が環境に及ぼす影響について多面的な研究を行っている。主な著書に「新版・農村計画学」「農地工学」など。西条市出身。



大会への参加申込方法

申込用紙に必要事項を記入し、申込先へ提出（郵送・ファックス・Eメール可）してください。申込用紙は公民館など市内の主な公共施設にあります。また、市ホームページからダウンロードできます。
申込先 市庁舎本館企画課 TEL0897-52-1466
〒793-8601 明屋敷164
FAX0897-52-1230
Eメール kikaku@saijo-city.jp

主催：システム農学会、西条市

後援：愛媛県、中国四国農政局、農村計画学会、JA西条、JA周桑、JA東予園芸、西条商工会議所、周桑商工会 協賛：(株)西条産業情報支援センター、アサヒビール(株)